

事務事業 No./名称	■サービス部門 □支援部門				行事開催事業		タイムスコード及び個別事業名			
	消防-02						219	行事開催事業		
主管課	消防総務課		関連課							
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	開かれた消防を目指します									
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考						
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯							
運営資源 状況	決算値	205千円	175千円							
	(国・県)								指標と評価	
	(負担金等)								指標	消防出初式
	(一般財源)	205千円	175千円						評価	○
	人員配置数	0.3人	0.3人						◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	人件費	2,787千円	2,817千円						目標値	実績値
	協働の パートナー								20年度	○
事務事業 運営経費	総事業費	2,992千円	2,992千円	21年度	○	○				
	市民1人当 りの経費	17円	17円	22年度	○					
	対象者1人 当りの経費			23年度	○					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						最終年度 (年度)	○		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・行事開催の支援にあたる職員を増員したいが、時間外手当が膨らんでしまう								
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・出初式会場には、仮設の訓練塔は設置せず、既存の施設を利用したが、市民が消防の仕事を理解しやすくように演技内容を工夫した結果、アピールできたと考えている								
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・展示コーナーについて、展示物を増やすことや見易いように配置するなどの工夫が満足できなかった								
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・今後は、工夫を凝らし市民に親しみやすい展示コーナーとなるよう検討したい								
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了										
評価結果	改善の必要性					評価結果	改善の必要性			
A:	無	出初式の挙行計画内容を検討する				A	無	市民に消防の仕事を理解してもらう 良い機会なので、今後も継続して行 いたい		
課長名		堀 英彦			部名・部長名		消防本部 畑 光則			